平成26年度　事務事業評価表【評価版】　　　　【　220】

事業名：老人憩の家管理運営事業

介護保険課　高齢福祉係

政策	03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実								
施策	05 高齢者福祉の充実								
基本事業	01 地域交流と社会参加の促進								
開始年度	—	終了年度	—	実施計画事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・老人憩の家
・６５歳以上の高齢者

手段（事務事業の内容、やり方）

施設の管理運営を指定管理者に委託する。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設の維持管理・運営を適切に行い、高齢者が施設を快適に利用する。

指標・事業費の推移

区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標１	６５歳以上の高齢者数	人	27,827	28,949	30,240	—
対象指標２	施設数	施設	4	4	4	4
活動指標１	指定管理委託料等	千円	13,411	11,884	10,795	—
活動指標２						
成果指標１	延べ利用者数	人	25,984	25,960	28,310	26,000
成果指標２	不具合件数	件	12	9	10	10
事　業　費 (A)		千円	13,411	11,884	11,162	12,210
正職員人件費(B)		千円	401	802	781	1,017
総事業費 （ A ＋ B ）		千円	13,812	12,686	11,943	13,227

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	・指定管理者へ管理・運営を委託	・指定管理委託料　　10,795千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景

事業を取り巻く環境変化

高齢化と核家族化の進展により、外出・交流の機会が減少している。

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度７月時点）

（1）税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

妥当である 妥当性が低い	理由根拠	高齢者が団体単位、個人単位で参加、集える場所を設置し、運営管理を行うことは、高齢者が地域での生きがいのある生活を支える上で妥当である。

（2）上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由根拠	高齢者クラブ活動や趣味の活動は高齢者の生きがいであり、このための会場を維持管理し確保することは生きがいづくりに対し貢献度はある。

（3）計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由根拠	施設の老朽化が激しいため、不具合件数は横ばいになっているが、適宜対応しており、利用者数が増えていることから、成果は上がっていると考える。

（4）成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地　大 成果向上余地　中 成果向上余地　小・なし	理由根拠	指定管理者による施設の管理運営は適正に行われており、施設の利用希望者は増加傾向にあるが、施設内の部屋数に限りがあるため、これ以上の成果向上の余地はない。

（5）現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する方法はありませんか？

ある なし	理由根拠	指定管理者の運営努力により、経費削減が図られていることから、これ以上のコスト削減は難しい。